研究課題名：shaggy aorta を伴う TAA, AAA に対する TEVAR, EVAR の検討

所属(診療科)：心臓血管外科

研究責任者(職名)：玉井宏一 (医師)

研究期間：臨床研究審査委員会承認日から学会発表、論文投稿を行うまで

研究目的と意義：本研究は shaggy aorta を呈する患者さんに対する血管内治療における治療の安全性を検討する後ろ向きの観察研究です。高齢化に伴い shaggy aorta を伴う胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤患者さんは相対的に増加傾向にあり、また背景から開胸、開腹が困難な場合、術前 CT 上 shaggy aorta を認めていても総合的な判断として血管内治療が望ましい患者さんが一定数存在します。術前 CT での shaggy aorta の程度により周術期の脳梗塞、末梢塞栓症、対麻痺の合併症発生の頻度を検証します。

研究内容

- 対象となる患者さん：2023年1月から2024年11月まで当院にてTAA, AAAに対し待機的にTEVARまたはEVARを実施した91症例
- 利用する情報/資料：年齢、性別、現病歴、既往歴、喫煙歴、血液学的検査、生化学検査、胸腹部CT画像、手術所見、合併症(脳梗塞、末梢塞栓症、対麻痺)
- 研究方法：術前CTを用いてshaggy aorta scoreを算定し、shaggy群(total shaggy score 11以上)と非shaggy群(total shaggy aorta 10以下)の2群に分け、術前状態及び脳梗塞、末梢塞栓症、対麻痺の周術期塞栓症発生イベント有無を後方視的に群間評価します。情報はすべて匿名化され、個人が同定されることはなく適正に管理されます。

【個人情報の保護・インフォームドコンセント】 本研究目的で収集される情報には個人を特定できるような内容は含まれない。実施に当たっては、オプトアウトの形式をとるものとする。

問い合わせ先：【研究担当者】

氏名：玉井 宏一

住所：〒239-8567 神奈川県横須賀市新明町 1-8

電話：0570-03-2630

FAX：046-884-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）